

とやましょうがっこう ほごしゃ みなさま
戸山小学校の保護者の皆様

しんじゅくくりつとやましょうがっこう かいちょう ひろた みつぐ
新宿区立戸山小学校 PTA会長 廣田 貢
こうがいあんぜんいんちよう やまもと なみ
校外安全委員長 山本 菜美

通学路の安全確保に向けて（取組状況の共有と今後のご協力のお願い）

いつもPTAの活動にご理解、ご協力いただきありがとうございます。

とやまこうえん さくら みごろ むか じき あらた あら であ かどで むか こども
戸山公園の桜が見頃を迎える時期、改めて、新たな出会いや門出を迎える子供たちが、いつまで
あんしん すこ せいちょう こころ ねが
も安心して健やかに成長していけるようにと心から願います。

さくねん つき ちばけんやちまたし こうつうじ ことう ふ こうがいあんぜんいんかい つうじよう かつどう
さて、昨年6月の千葉県八街市での交通事故等を踏まえ、校外安全委員会では、通常の活動に
くわ きけんかしよ そうてんけん じっし あんぜんあんしん さくせい とく
加え、危険個所の総点検の実施や安全安心マップの作成などに取り組んできました。

また、校外安全委員会と実行委員会役員が連携し、以下の取組を実施してきました。

- ・ 道路管理者、警察、学校による通学路の合同点検への参画
- ・ 重点箇所（2の道、4の道高架下）における交通量調査の実施
- ・ 通学路の安全確保に関する保護者アンケートの実施
- ・ 教育委員会や大久保出張所、道路管理者、警察等との意見交換、要望
- ・ 校外安全委員及び実行委員会役員による見守り活動（あいさつ運動を含む）

じょうき ほごしゃ みなさま きょうりよく とやましょうがっこう
上記のうち、保護者の皆様にご協力いただいたアンケートにつきましては、戸山小学校ホームページ
ページのPTAのページに概要を掲載いたしましたので、ご覧ください。私たち役員や委員だけでなく
おほ ほごしゃ かたがた つうがくろ きけんせい もんだいしき きまかん も かくにん
く、多くの保護者の方々が通学路の危険性について問題意識・危機感を持っていることが確認できま
した。ご協力いただいた皆様、本当にありがとうございました。

つうがくろ あんぜんかくほ ほごしゃ がっこう ちいき どうろかんりしゃ けいさつ さまざま かたがた
通学路の安全確保は保護者のみならず、学校や地域、道路管理者、警察など、様々な方々のご
りかい きょうりよく じつげん いっしょういっせき すす わたし
理解、ご協力があって実現できるものであり、一朝一夕で進むものではありませんが、私
は、こうした保護者の皆様の思いを大切にしながら、関係機関などに対して粘り強く働きかけると
ともに、私たち自身にできることを積み重ねてまいります。子供たちが笑顔で安心して学校生活を
おく ひ つづ ひとり おお みなさま きょうりよく ねが
送るために、引き続き、一人でも多くの皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

1. 基本情報

お子様の学年を選んでください。お子様の通学路を選んでください。

学年	回答数
1年生	26
2年生	19
3年生	20
4年生	15
5年生	13
6年生	10
計	103

道	回答数
1の道	12
2の道	18
3の道	42
4の道	31
計	103

学年	1の道	2の道	3の道	4の道	計
1年生	4	7	9	6	26
2年生	1	2	8	8	19
3年生	3	1	9	7	20
4年生	1	3	8	3	15
5年生	3	2	4	4	13
6年生		3	4	3	10
計	12	18	42	31	103

2. 通学路全般に関するアンケート

Q1. 通学路で危険だと思われる箇所がありましたらその箇所をできるだけ詳しくお書きください。

道	回答数
1の道	6名
2の道	41名
3の道	5名
4の道	19名

道	回答	回答シェア
1の道	大久保通りと一の道がぶつかる場所で朝、酔っ払いが良く寝ています。	50%
2の道	2の道の海城前から明治通りまでの道	54%
	セブンイレブンやファミリーマートの前	22%
3の道	戸山公園から小学校へ向かう一方通行の道で、海城の角を曲がって小学校へ直進になるガードレールがなくなるエリア。	27%
	戸山公園から、コズミック通りは渡る道	80%
4の道	公園内茂みの近隣全て	60%
	高架下付近から小学校に向かう歩道	74%

Q2. Q1の箇所で危険だと思われる状況をお書きください。

道	内容	回答シェア
1の道	自転車や車がスピードを出している	50%
	通行人が多い	33%
2の道	交通量が多く、車内から低学年を確認できない死角がある	33%
	車、自転車、大型車両、送迎車両など交通量が多い	78%
	路駐車両が多く、見通しが悪い	56%
	道路幅が狭い	37%
3の道	路駐が多く、見通し（死角）が悪い	50%
4の道	高架下が危ない →坂が交差していて見通しが悪い、→多方向から車が来る、→歩道が狭い、→浮浪者が毎日いる	89%
	車両（自転車含む）がスピードを出している	58%

Q3. 通学路の安全対策について、ご意見をお書きください。

具体的な対策	回答数
スクールゾーン化（下校時間含む）	他12名
子供へ危険個所の注意喚起	他8名
シルバーさん、保護者の見守り	他8名
一方通行化	他4名
ガードレール設置（歩道つくる）	他3名

3. 危険個所に関するアンケート

この通学路の利用に際して、どのように感じていますか？		回答数	シェア
①高架下付近	よくわからない	2	2%
	危険だと感じている	32	33%
②海城高校東側交差点から菊屋前交差点付近	よくわからない	4	4%
	危険だと感じていない	2	2%
	危険だと感じている	57	59%
総計		97	100%

どのような点が危険に感じますか	①高架下付近		②海城高校東側交差点から菊屋前交差点付近		総計	
	回答数	シェア	回答数	シェア	回答数	シェア
通学時間帯における車両の交通量が多い	15	44%	41	64%	56	57%
狭い道路幅にもかかわらず、通行する車両の速度が速い	23	68%	44	69%	67	68%
（特に交差点付近）複数の方向から車両が同時に進入してくる	15	44%	27	42%	42	43%
業務用車両などが停車し歩行者ゾーンをふさぐため、車道に出て歩行しなければならない	5	15%	32	50%	37	38%
車両同士のすれ違い時に歩道スペースがふさがってしまい通行できない	10	29%	29	45%	39	40%
歩道スペースと車道スペースがガードレールなどで区分されていない	5	15%	33	52%	38	39%
ガードレールが物理的に狭く、下校時刻が他校と重なるとガードレールからはみ出し、道路を歩く児童を多く見かける	16	47%	26	41%	42	43%
通学路上に不審なものが置いてあり、通行しづらい	13	38%	2	3%	15	15%
見通しの悪い箇所がある	12	35%	21	33%	33	34%
計	34	100%	64	100%	98	100%

どのような対策が講じられるとよいと考えますか。

回答	①高架下付近		②海城高校東側交差点から菊屋前交差点付近		総計	
	回答数	シェア	回答数	シェア	回答数	シェア
通学時間帯の車両の通行を何らかの形で制限する	14	45%	39	63%	53	57%
一方通行化など、車両のすれ違いをなくす手立てを講じる	11	35%	22	35%	33	35%
業務用車両の通行時間をずらしてもらう	3	10%	14	23%	17	18%
歩車道区分を明確化するためのガードレールを設置・拡充する	12	39%	24	39%	36	39%
車両のスピードを低減するための手立て（道路、交通標識など）を講じる	14	45%	29	47%	43	46%
危険箇所への見守りの人員を配置する	10	32%	22	35%	32	34%
保護者の方々で見守りの活動を募集し取り組む	2	6%	9	15%	11	12%
警察官による巡回・指導の対象に加えてもらう	13	42%	24	39%	37	40%
通学路上に不審なものが置かれないよう手立てを講じる	12	39%	4	6%	16	17%
児童の安全教育を徹底する	18	58%	22	35%	40	43%
通学路の区分を徹底する（3の道の児童が通らないよう改めて指導する）	0	0%	6	10%	6	6%
計	31	100%	62	100%	93	100%

ヒヤリハット事例を目撃したことがある場合の具体的な実例

- ・ 正門前で自動車が曲がりきれずに立ち往生していた。(前後に登校中の児童あり)
- ・ 学童帰りに4の道側へ坂をかけ降りた児童が、自動車と接触しそうになった。
- ・ 配達の前車が登校中の児童の間を蛇行して猛スピードで通り抜けるのを頻繁に見かける。
- ・ ガードレールから児童がはみ出した時に、すぐ横をバイクが通り抜けた。
- ・ ガードレールが設置されていない場所で子どもが自転車やバイクにぶつかりそうになった。
- ・ タクシーがスピードを緩めるどころか、曲がるタイミングでアクセルを踏んで走り去った
- ・ トラックが多く往来します。子供達がぶつかりそうになっている所を何度も見ました。特に、低学年の生徒は、走ることがあるので家庭や学校で安全教育も必要かと思います。
- ・ また、自転車が早いスピードで走っていくので子供も当たりそうになったと言っていました。
- ・ トラックの影からバイクや車が急に飛び出してきた。
- ・ すれ違う車のスピードが早く、狭いので傘や自転車が巻き込まれそうになる。
- ・ 細い道から一時停止しないで自転車が飛び出してきた、子供の自転車にぶつかって転んだ。
- ・ 横断歩道の飛び出し
- ・ 下校時、宅配等に用いられる小さめのバンが結構な速度で通行している。子ども達が車道にはみ出ている時はさすがに減速してくれるが、急いでいるのか子ども達のそばを通る時もそのままの速度で走るので怖い。
- ・ 角の内側に人がいても車が曲がってくることがあります。
- ・ 菊屋前の T 字交差点で官舎方面から出て来て左折しようとした車が大きく膨らんで左折し、歩道上の児童が、突然目の前に車両が現れてびっくりしていた。
- ・ 菊屋前の角を曲がる際に、前後に子供を乗せた自転車が猛スピードで向かってきたが、避けられずぶつかり、若い女性が倒れて足を擦りむく程度の怪我をしていたが、自転車から降りずただごめんなさいね、お迎えがどうのこうのと言いながら逃げていた。
- ・ 菊屋前の交差点は見えずらく、また子供も飛び出してることがある。
- ・ 狭いみちにも関わらず、広がって歩いたり、走ったりするとヒヤヒヤします。
- ・ 狭い歩道に自転車がスピードをあげて突っ込んできた
- ・ 交差点で、パーキング方面から、自転車に乗った子供が、左右確認をすることなく、飛び出してきた。
- ・ 高架下を通り過ぎて戸山小学校に左折して登っていく T 字路で真っ直ぐいきたい自転車と左折したい自転車がぶつかった
- ・ 左右確認せずに自転車乗った小学生が飛び出していた。
- ・ 山手メディカル側から、高架下へ入る信号なしの横断歩道で、交通安全の旗を持った方がいたけれども、左折して来た車が勢いよく曲がってきました。渡ろうとした子を、咄嗟に引き寄せ戻しましたが、勢いよく渡っていたら、危ない所でした。旗を持った人がいても、左右の安全を確認する事が大事だと思います。
- ・ 子供が 車にひかれそうになり 危ないよと大声で伝えました。
- ・ 子供が道路に走り出たところに車がきて急停車した。
- ・ 子供のそばを自転車がすり抜けていきます。

<ul style="list-style-type: none"> ・止まっている車を避けて歩く子どもが大幅に道の中央に出ていて、後ろから別の車が来ていた。
<ul style="list-style-type: none"> ・児童が、路肩に停まっている車を避けて車道に出たら、反対方向から車も来ていてストレスだった。トラックが、徐行せず歩行者の横を通っている。
<ul style="list-style-type: none"> ・児童と同方向に割と速度を上げて走ってきた自転車が、友達とじゃれて車道に飛び出した児童と接触しかけていた。
<ul style="list-style-type: none"> ・自転車と車の衝突事故の回避
<ul style="list-style-type: none"> ・自転車に乗った子供が歩道側から反対側に移動するのをよく目撃します。車との距離がギリギリなことも多く、車と衝突するのではとハラハラしました。
<ul style="list-style-type: none"> ・自転車同士でぶつかった。目撃したのは大人同士。
<ul style="list-style-type: none"> ・車両と児童の距離が近かった。
<ul style="list-style-type: none"> ・数年前ですが、低学年の男子児童が自動車の前にわざと飛び出す行為をしていた。車が停車したので事故にはならなかった。
<ul style="list-style-type: none"> ・大きなトラック同士がすれ違うその横を子どもが通ってしまう。大人と一緒にいれば、待つように声もかけられるのだが、顔見知りでない大人の声は聞いてくれない子もいて、ハラハラしてしまう。
<ul style="list-style-type: none"> ・通学、下校時間外のことですが、車が来ていたのにもかかわらず、子供が左右確認せずに走って信号のない横断歩道を横断していた。車は子供の存在に気がついていたので速度を落として止まってくれました。その子が渡り終わって車が通ろうとした時に、先に渡った子供を追いかけてきた子供も渡ろうとして、ヒヤッとしました。幸い運転手の方がすぐに止まってしてくれたので、何事もなかったのですが、子供たちが周りを見ないで渡っていることが心配です。
<ul style="list-style-type: none"> ・道が狭く、車と衝突しそうになりそうな現場を何度も見ている。実際にこの道路から少し進んだところで自転車に乗った小学生？が車と衝突したところを目撃しました。道がとにかく狭いの一方通行ではないので、路駐があると常に死角だらけになりとても危険です。
<ul style="list-style-type: none"> ・道幅が狭いため、歩行者を避けるために車道に出た車と自転車と車が接触しそうなくらい近いのを見た時。
<ul style="list-style-type: none"> ・道幅が狭くガードレール外に児童があふれているところに、車、自転車が走ってくる
<ul style="list-style-type: none"> ・突き出た電柱に勢いよくぶつかる児童を見た
<ul style="list-style-type: none"> ・文化通りとの交差点で目撃した内容を 2. に記載した。横断歩道まで下り坂で走りやすいので、鬼ごっこは下校直後からと思われる。
<ul style="list-style-type: none"> ・別の路地から出てきた自転車同士が危うく衝突しそうになっていた
<ul style="list-style-type: none"> ・歩行者がいるにも関わらず、車がスピードを出して走っていた
<ul style="list-style-type: none"> ・路駐した車の影から自転車が来て、子供がぶつかりそうになっていた。